

たばこによる火災を防止しよう!!

近年は、喫煙マナーなどについて厳しく管理され、全館禁煙、喫煙場所指定・ばい捨て禁止など様々な規制がされていますが、いまだ喫煙のマナーが守られていないのも実情です。「たばこのポイ捨てくらいで火災なんて」と安易考えてしまいますが、実はポイ捨てされたたばこの火は700度にも達することがあり、火災の原因になります。

「自分は絶対火事を起こさない。」と想着いても、火の取り扱いを怠れば、どんな小さな火でも火災を発生させてしまいます。次のことに心掛けたばこによる火災を防止しましょう。

【たばこによる火災を防ぐためのポイント】

- 1つ目 必ず決められた喫煙場所でタバコを吸う。
- 2つ目 寝たばこをしない。
- 3つ目 火気厳禁の場所でタバコを吸わない。
- 4つ目 タバコを吸うときは灰皿のある場所か携帯用灰皿を使用する。
- 5つ目 灰皿のたばこを定期的に捨てる。タバコは火を消したつもりでも、火が残っている場合がありますので、灰皿に水を張っておくなど、習慣づける。



劇場、展示場、物販店、文化財施設などの喫煙等について、市町村の火災予防条例で、定めていることがあります。このような場所に入出入りする時は、各建物で定められているルールを必ず守り、火災予防に努めましょう。

